

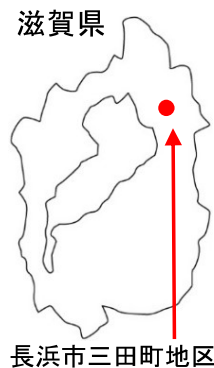
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作と畑作が主体の平地農業地域
- 高齢化に伴い、担い手への農地集積は進んでいるものの、分散錯圃の解消（集約化）を進めていく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 水稲及び麦・大豆栽培を中心とした作付けを行う地域の中心となる経営体に対して、農地の更なる集積・集約化を図ることにより、経営規模の拡大と生産性の向上を支援することが必要。
- 助成対象者は地区内の中心となる経営体であり、経営規模の更なる拡大を志向しており、併せて6次産業化も実践。このため、地区における農地の集積・集約化と担い手の生産性の向上を支援。



助成対象者「A農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成15年 経営開始
- 平成16年 農業経営改善計画認定
- 平成27年 総合化事業計画認定
6次産業 事業開始

《事業活用の背景》

- 農地中間管理機構を通じた農地の集約化の他、作業受託等も含め、これまで以上の面的集積を進めるためには、生産性の向上を図ることが必要。
- 経営面積の拡大に向け、農薬や肥料散布作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 33百万円
- 作付作物 水稲、麦、大豆
- 経営面積 14.7 ha

《事業による整備内容》

- 農薬等散布用ドローン 1台
- 事業費 2,605 千円
(国費 710 千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 売上高 40百万円 (121%)
- 作付作物 水稲、麦、大豆
- 経営面積 18.7ha (127%)

事業の
効果

《対象者》 農作業の効率化による生産性の向上により、売上高の増加と経営面積の拡大を実現。

《地区》 担い手への農地の更なる集積および分散錯圃の解消（集約化）が図られたことにより、地域の担い手が育成され、地域農業の維持に寄与。